

第18回 公開シンポジウム

国連仙台防災枠組みと 看護の貢献

平成27年3月、仙台で開催された第3回国連防災世界会議において、仙台防災枠組みが採択されました。この枠組みでは、人々の暮らしと命・健康を守るための活動、またより良い復興のための活動の必要性が強調されています。

今後15年間の防災や災害時/後の対応の指針となる仙台防災枠組みの内容を知り、より具体的な活動を模索したいと考えています。災害看護領域の方々のみに関わらず、日本の看護界が一体となり、多発する災害に対して備え、対応し、人々の健康を守るために、必要な活動や必要な教育や必要な研究について、共に考えてみたいと思います。多数の方々のご参加をお待ちしています。

日時:平成27年12月6日(日)16:30~18:00

場所:広島国際会議場 第2会場 ヒマワリ

<シンポジスト>

1. 齊藤馨氏 (内閣府政策統括官(防災担当)付参事官)

「国連仙台防災枠組みと日本の方向性」

本枠組みの作成に関わられた経緯を含め、枠組みの内容と日本がこの枠組みをもとに、何を行おうとしているのかについてお話し頂きます。

2. 田中美恵子氏 (日本学術会議連携会員、東京女子医科大学看護学部教授)

「日本看護系学会協議会における災害への取り組み」

42学会が加盟する日本看護系学会協議会における災害への取り組みについて、特に東日本大震災後に焦点を当てて、その活動についてお話し頂きます。

<司会>

南裕子: 日本学術会議連携会員 高知県立大学長

山本あい子: 日本看護系学会協議会災害担当理事、兵庫県立大学教授

主催: 一般社団法人日本看護系学会協議会、日本学術会議健康・生活科学委員会看護学分科会

後援: 公益社団法人日本看護科学学会、第35回日本看護科学学会学術集会